

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援くらっぴ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 25日		2026年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 1月 25日		2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 25日		2026年 2月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・各訪問先と連携しながら訪問を行うことができている。	・保育所等訪問支援の計画書やアセスメント情報、保護者からの話などをその都度共有し合い、情報共有しあっている。 ・訪問見学実施30分程度、フィードバック時間30分程度と時間の確保できるように園側とも連携をはかっている。	・担任だけでなく、加配職員や園長など、園全体への共有を行う。 ・本児の育ちや課題についての変化をわかりやすく掲示したり、支援に必要な物を実際に見ていただくことで、訪問先でも取り入れることのできる支援方法の検討を行うようにする。
2	・保護者様のニーズに合わせた支援ができている。	・保護者様と園をつなぐことができるように、フィードバック時に様子を伝えるだけでなく、要望等も聞き入れている。 ・お子様の成長に合わせて変わるニーズにも対応できるように密にコミュニケーションを取るようになっている。	・保護者様の園生活における不安感や園側とのコミュニケーションについて細かく聞き取りを行うようにする。 ・発達段階に合わせた支援方法や園に適した支援方法、ご家庭で実施できることなどをわかりやすく、お伝えする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問回数が、2カ月に1回程度と少なくなっている。	・園側の行事や都合、事業所側の人員配置の問題により、充実した日程の確保ができていない。 ・園側に対して、訪問の意義や意図について説明が不十分な点がある。	・事前に園側の年間のスケジュールや繁忙期などの聞き取りを行い、日程の確保をできるだけ行う。 ・事業所として、人員を増やし保育所等訪問にあてることのできる時間を増加する。
2	・訪問先とゆっくりと話せる時間の確保がなかなかできていない。	・フィードバックが訪問後の時間設定のため、担任及び加配が保育中のため、なかなかゆっくりと話す機会が難しい。 ・保育所等訪問支援の意義やガイドラインについてゆっくりと説明できる機会を設けることができていない。	・事前に伝え、抜ける部分に対する補助を行ってもらえるように園側と連携できるようにする。 ・事前にガイドラインをお配りしたり、進め方などについて書類を用いるようにする。
3			